



本県で生産されているスカビオサは、国内外の市場評価が高く、個人消費の需要も高い品目です。遠隔地へ長期輸送となる場合、開花の進行による日持ちの短縮や観賞価値の低下を防ぐため、生産現場ではつぼみが固く花が全く開いていない状態で早期収穫しています。しかし、早期収穫することで観賞中の開花や発色が不十分となりやすいことが問題でした。

そこで、本県の主力品種「フリフリメイ」を用いて、①つぼみが開き始めた「慣行」②つぼみが固く色づいていない「固め」――の異なるつぼみステージで、収穫した切り花の観賞中にそれぞれ糖処理ありとなしの計4区を設け、品質への影響を調査しま

した。その結果、観賞中に糖処理を行うことで、つぼみステージが固めで収穫した切り花の花径は大きくなり、アントシアニン量が増加し発色は慣行

フリフリメイ早期収穫と品質 糖処理で花径が大きく 発色は慣行と同等以上

切り花と同等以上となりました。

なお、本試験での糖処理には、グルコース1%と抗菌剤を含む品質保持剤を使用しました。そのため、本技術を活

観賞中の糖処理がスカビオサ「フリフリメイ」の品質に及ぼす影響

	つぼみ ステージ	糖処理	最大花径 ^z (mm)	アントシアニン量 ^y (OD530nm/gFW)	花色 ^x	
					明度	彩度
①	慣行	なし	65.3	2.4	44.1	21.8
	慣行	あり	65.6	3.3	43.6	26.1
②	固め	なし	48.3	1.2	63.9	11.9
	固め	あり	52.5	4.0	43.8	35.5

※アントシアニン量と花色は糖処理10日目に基づ部から3列目の小花の花弁を用いて測定した。
z)糖処理開始から日持ち終了まで毎日花径を測定し、最大となった値。
y)1%塩酸-メタノールで抽出した液を定容し、最大波長(530nm)の吸光度を測定した。
x)色差計により測定。明度の数値が大きいほど薄い色を示し、彩度の数値が大きいほど鮮やかな色を表す。

用する際は、市販のグルコース(ブドウ糖)を含む資材を使用するとよいでしょう。
(長崎県農林技術開発セン
ター 農産園芸研究部門 花
き・生物工学研究室 主任研
究員 木戸真史)